

# 林業・水産業経営アドバイザー制度について

【H30年2月版】

- 日本政策金融公庫の林業・水産業経営アドバイザー制度(平成20年度創設)は、林業・水産業経営の維持、発展、事業再生支援等を行うために必要な各種分野における知識、ノウハウ等を有する者を育成し、林業・水産業経営に対する支援機能を維持、拡充強化することが目的。
- これまで**林業経営アドバイザーで77名、水産業経営アドバイザーで62名**の合格者が誕生。税理士や金融機関といったそれぞれの立場で林業・水産業経営を支援。

## 受験者・合格者の推移及び内訳

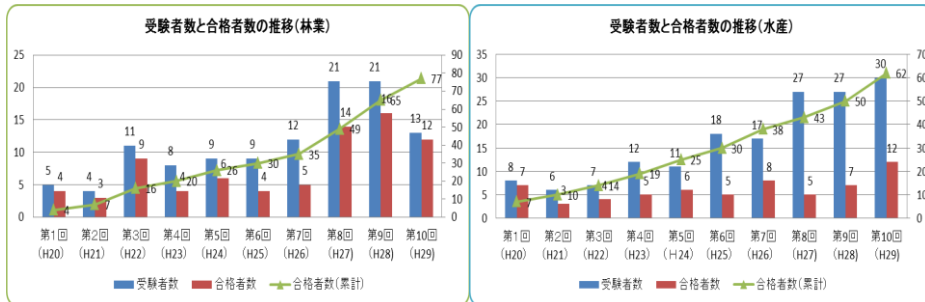
(受験対象者)

公庫本支店と連携して林業・水産業経営者への支援を活動を行っていただけの税理士、公認会計士、中小企業診断士、金融機関職員、その他関係機関・団体職員等。

【研修・試験の内容】

	林業経営アドバイザー	水産業経営アドバイザー
研修日数	3日間	4日間
試験	筆記試験+面接試験	
研修科目	①林業政策 ②税務基礎 ③経営診断 ④マーケティング ⑤事業再生	①水産政策 ②海外事情・政策 ③リーダーシップ論 ④経営診断 ⑤マーケティング ⑥事業再生

(合格者の推移)



(業種別合格者数)

	公庫	税理士	公認会計士	中小企業診断士	民間金融機関	その他	合計
林業	35名	2名	3名	7名	25名	5名	77名
水産業	22名	2名	2名	8名	24名	4名	62名

## 活動事例

- 林業・水産業経営者からの融資相談対応
- 林業・水産業経営者向けの融資商品の企画
- 経営診断の実施や各種事業計画の作成支援
- マーケティング計画の策定支援
- 税務相談会等の実施



## アドバイザー・ミーティング

- 林業・水産業経営アドバイザーのスキルアップのための研修として、毎年1回アドバイザー・ミーティングを実施。

【平成30年度のミーティング内容】

(日程・開催場所)10月19日～20日 東京

林業経営者による講演、林業・水産業経営者によるパネルディスカッション(アドバイザーへの期待)、林業・水産業経営者に向けたアドバイス事例の紹介、アドバイザー相互間の意見交換など